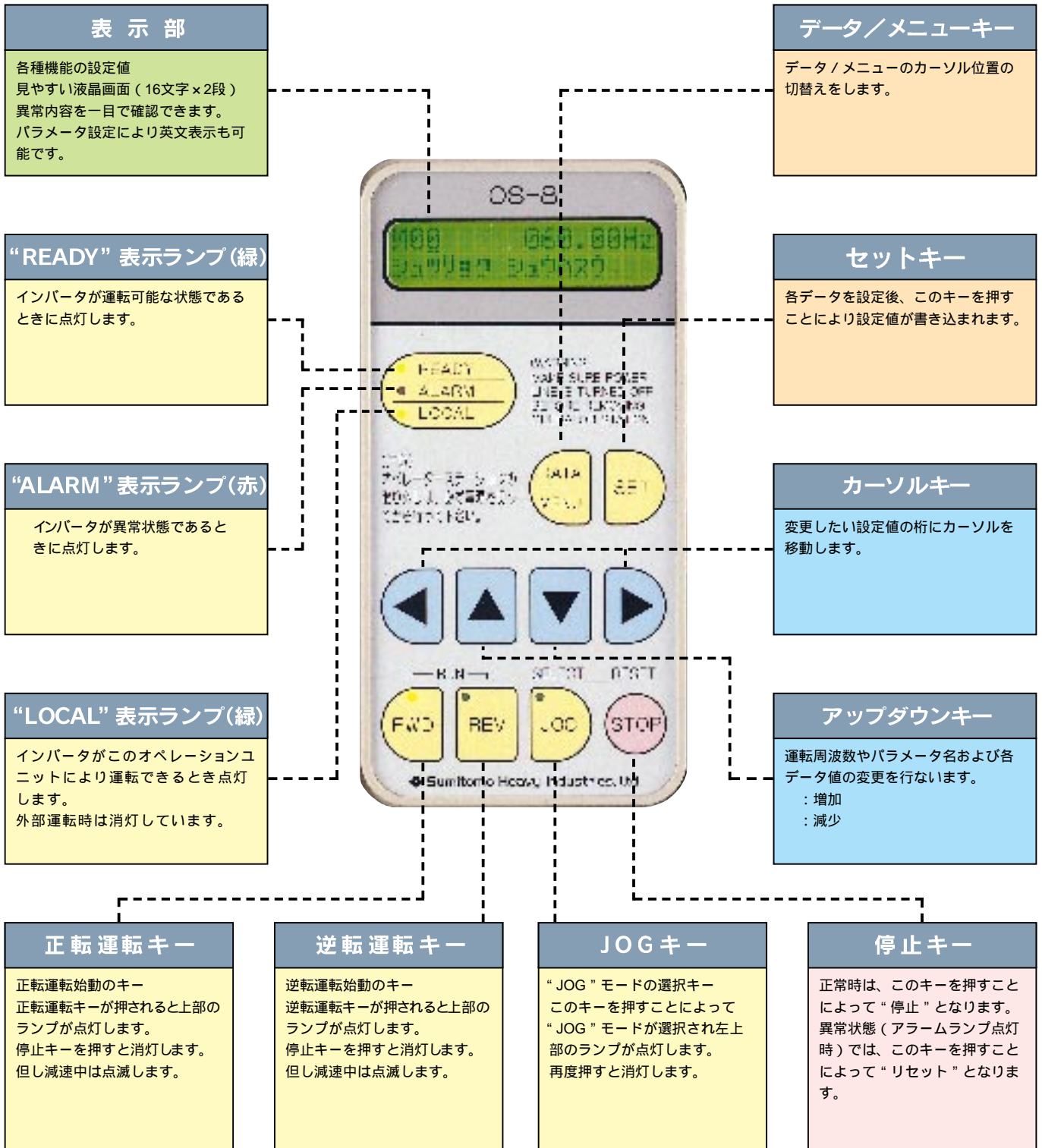


● オペレーション・ユニットの使い方 ●

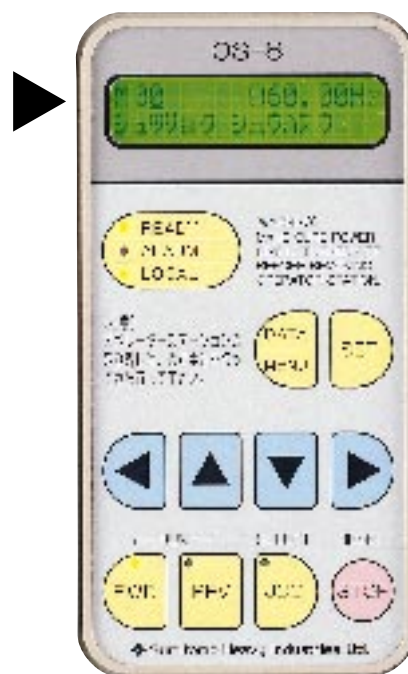
簡単操作のオペレーション・ユニット (OPU)



OPUをインバータ本体から取りはずして使用する場合は遠隔操作オプションを御使用ください。

表示部説明

OPUの表示部において、カーソル位置にある文字、又は数字を変更できます。

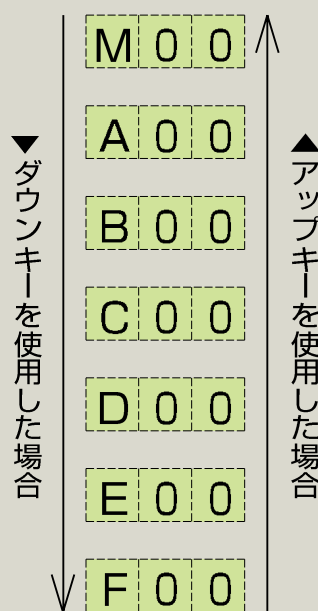


メニュー領域

(上段左端)

メニューが表示される表示領域

上段左端にカーソルを持ってきて、アップキー▲、ダウンキー▼、によって、次の様にメニューを変更する事ができます。



メニューナンバー領域

(上段、左端より2、3文字目)

メニューのナンバーが表示される表示領域

上段左端より2、3文字目にカーソルを持ってきて、アップキー▲、ダウンキー▼、によって、カーソルのある位置の数値の変更が可能です。

データ領域

(上段 左端より4文字目以降)

モニタ値および設定値が表示される表示領域

- ・M (モニタ)ではモニタ値が示されます。
(カーソルの移動及びモニタ値の変更はできません。)
- ・メニューA~Fでは、パラメータの設定値が示されます。
(カーソルの移動及びパラメータ値の変更はできません。)
- (注) 設定範囲外のデータは書き込めません。

表示メニュー

モニタ M 0 0 ~

モニタモードは、速度、電流、エラーの履歴などを表示します。

メニューA A 0 0 ~

(基本パラメータ)
運転する際、最低限設定が必要な基本パラメータを設定します。

メニューB B 0 0 ~

(周波数関連パラメータ)
周波数設定関連パラメータを設定します。

メニューC C 0 0 ~

(制御関連パラメータ)
モータ制御関連パラメータを設定します。

メニューD D 0 0 ~

(Bモードパラメータ)
Bモード関連パラメータを設定します。

メニューE E 0 0 ~

(モニタパラメータ)
モニタ関連パラメータを設定します。

メニューF F 0 0 ~

(特殊パラメータ)
特殊パラメータを設定します。

コメント領域

(下段)

M (モニタ)及びA~F (ファンクション)の機能説明コメントがカナで表示されます。
パラメータ設定により英文表示も可能です。

オペレーション・ユニット (OPU) による機能設定例

(例) OPU運転で設定周波数を10Hzから20Hzに変更する場合



① 電源を投入します。

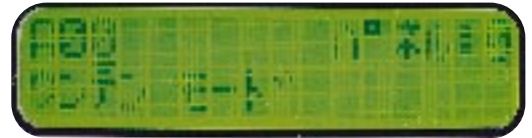
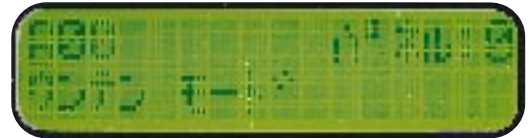


READY 点灯

② 周波数設定のパラメータ値を変更するために、まず周波数設定 **A01** を表示します。





[実際の操作詳細]

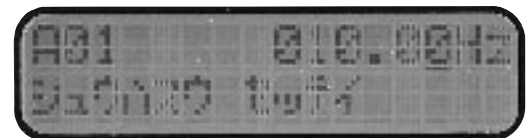
1. カーソルがメニュー領域内にあるので、カーソルキーを押し、メニューを **A00** にします。
2. 周波数指令設定パラメータ **A01** にする為、メニューナンバーの下位桁にカーソルを移動させます。
(右シフトキー  を2回押す)
3. メニューナンバーを **A00** → **A01** にする為、アップキーで + 1 とします。
(アップキー  を押す)




③ 表示された周波数設定 **A01** について設定値を変更します。

[実際の操作詳細]

1. **A01** のパラメータ値を10Hzから20Hzに変更する為、データ/メニューキー  を押しメニュー領域からデータ領域へ切替えます。
2. カーソルキーを移動して、10.00Hzの1の下にもってきます。
(左シフトキー  を3回押します)
3. 10.00Hzを20.00Hzに変更します。
(アップキー  を押します)
4. 20.00Hzに設定変更した事をインバータに記憶させる為、セットキー  を押します。
(セットキーを押すと、下段コメントにいったん“セッテイシュウリョウ”表示され、元の“シュウハスウセッテイ”のコメント表示に戻ります)



この最後のセットキー  を押さないと設定変更が終了しませんので御注意ください。

